

様式5 緊急時の医療情報連絡票（在宅人工呼吸器使用者用）

災害時は、人工呼吸器使用者の健康状態を理解しているかかりつけ医や訪問看護ステーション等の支援を受けられず、緊急でかかりつけ医以外の施設に受診・入院する可能性がある。そのような場合に備え、必要な情報を記入しておく。災害時以外にも旅行等の外出時に携帯するとよい。

項 目	記入上の注意点等
診断名	・主たる診断名（人工呼吸療法が必要となった疾患名）を一つ記入する。
既往や合併症	・生命や健康問題に影響が大きいと考えられる疾患名を記入する。 ・記入欄が足りない場合は下段の「その他特記事項」欄に記入する。
主治医	・専門医は病状が悪化し、入院加療などが必要な場合の病院担当医師。 ・かかりつけ医は自宅へ定期的に訪問診療を行う医師。
今までの経過	・人工呼吸器装着は、現在の使用方法（気管切開かマスク使用か）の開始時期を記入する。 ・マスク使用から気管切開に移行した場合は、その時期を欄内余白に記入する。 ・その他経過中に発症した重要な経過内容も余白に記入する。
基本情報	・状態変化を早期に発見するために必要な情報。
人工呼吸器	・業者、機種名を記入する。 ・使用中の人工呼吸器に表示されている設定値を記入する。 ・人工呼吸器装着時間で、「日中2時間くらい外せる」等の情報は、その他（ ）内に記入する。
酸素使用	・「夜間のみの使用」などの情報はその他の（ ）内に記入する。
内服薬	・処方内容については薬局から渡される説明書（お薬手帳等）をこの連絡票と一緒に保管しておく。
栄養	栄養の摂取方法、チューブの種類やサイズ、栄養剤の種類、1日の総カロリー等を記入。
排泄	排泄の状況について記入する。
その他の特記事項	・特定の薬剤や消毒薬などにアレルギーがある、時に血圧や脈拍などの変動が大きい等、医療情報として伝達が必要と思われる内容を記入する。

※この緊急時の医療情報連絡票は、できる限り主治医に書いてもらう。情報更新が頻回で連絡票に記載するのが難しい場合には、人工呼吸器に関する情報の貼付や医療情報の貼付のみとし、災害時には医療機関同士での対応を依頼しておくことも可能とする。

※設定内容等が変更した場合は、更新を行う。

■人工呼吸器に関する情報の貼付欄

人工呼吸器の設定に関する指示書や人工呼吸器と回路・バッテリーの接続写真などを貼る。

■医療情報等に関する貼付欄

受診の際に必要な処方箋やお薬手帳のコピーを貼付する。変更したら、その都度貼り換える。安楽な体位のイラストや療養生活上の注意事項等があれば記載する。